



LMMサテライトシンポジウム

## ドイツのSPECK教授を迎えての バイオミメティクス日独交流会

物質・材料研究機構ではドイツのバイオニック連合のキーパーソンでもあるFreiburg大学のSpeck教授を3月にお招きし講演会を企画しています。ご講演は植物をモデルにした自己治癒する材料、極楽鳥の花弁構造などこれまでの多様なご研究の成果についてお話をさせていただきます。この機会を利用して、日本とドイツのバイオミメティクス研究の交流の場を設ける運びとなりました。

皆様のご参加をお待ちしています。

尚、事前登録が必要となりますので、下記のホームページよりご登録をお願いします。

日時:2014年3月5日(水)10:00~17:30 参加費:無料

懇親会(無料):17:30~18:30

場所:(独)物質・材料研究機構

<http://www.nims.go.jp/nims/office/index.html>

午前の部:千現地区管理棟1階第1会議室

午後の部:並木地区WPI-MANA棟大会議室

(講演の言語:英語)

主催:(独)物質・材料研究機構

協賛:高分子学会バイオミメティクス研究会

申込先:<http://nims-lmm.org/en/index.html>

## プログラム

### 午前の部

10:00-10:30 **N. Hosoda** "Biomimetic Reversible Interconnection"

10:30-11:40 **H. Kobayashi** "Structure and Materials of Giant Water Lily Leaf"

11:00-11:50 **T. Speck** "Bioinspired Structural Materials - Smart, Multi-Functional and Hierarchically Structured"

### 午後の部

13:30-15:30

バイオミメティクスをブレインストーミング!(会場参加者全員参加型)

15:30-17:30

日本のバイオミメティクス研究者による研究紹介(タイトルは仮題)

1. 井須紀文 LIXIL「カタツムリをヒントにした汚れないタイル」
2. 垣澤英樹 東京大学先端科学技術研究センター「貝殻の高靱性」
3. 不動寺浩 物材機構「魚の体色をモデルにした動的構造色」
4. 高梨琢磨 森林総合研究所「昆虫の振動受容機構」
5. 穂積篤 産業総合研究機構「生物を模倣した動的ぬれ性表面」
6. 野村周平 「昆虫SEM像のデータベース化とバイオミメティクス」
7. エニクホルバート、物材機構「蝶の鱗粉をヒントにしたエネルギー変換」

17:30-18:30 懇親会

問い合わせ先:

物質・材料研究機構 細田奈麻絵

[Hosoda.Naoe@nims.go.jp](mailto:Hosoda.Naoe@nims.go.jp)